

報告事項 タ

平成29年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議
兼鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会の概要について

平成29年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議兼鳥取県「体験
の風をおこそう」実行委員会の概要について別紙のとおり報告します。

平成30年3月17日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

平成29年度第2回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議 兼鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会の概要について

平成30年3月17日
社会教育課

1 日時 平成30年2月22日（木）午前9時30分から11時45分まで

2 場所 県立倉吉体育文化会館

3 会議の概要

議題1 体験活動の推進について

○平成29年度に実施した鳥取県「体験の風をおこそう」運動推進事業及び子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業の実施結果について報告した。併せて、平成30年度の鳥取県「体験の風をおこそう」運動推進事業計画について説明し、意見をいただいた。

※鳥取県「体験の風をおこそう」運動推進事業・独立行政法人国立青少年教育振興機構からの受託事業。

県立青少年社会教育施設・団体等が連携し、地域が一体となって子どもたちに自然体験などを直接体験する機会を提供するとともに、体験活動を推進する機運を高める取組などを実施する。

※子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業・文部科学省からの受託事業(平成29年度限り)

児童養護施設及び母子生活支援施設と県立青少年社会教育施設等が連携し、児童養護施設等の希望や課題意識に応じた自然体験活動の実施方法等を検討し、実施する。

○主な意見

- ・「体験の風をおこそう」という言葉はとても良い名称。
- ・保育園等の幼児は遠くまで出かけにくいので、東部地域での活動も対象になれば良いと思う。
- ・体験活動を指導できる人材は不足しているので、指導者育成の講座は対象を図書館や公民館職員にも広げてほしい。
- ・自然体験活動の広報チラシは、手に取ってもらえるように、行事日程に加えて一部詳しく紹介するなど工夫して欲しい。

[対応]→意見を踏まえて事業内容を再検討し、平成30年度事業計画を修正する。

意見交換(1) 公民館の振興について

○鳥取県公民館振興プラン(H20.8策定)に掲げる施策の取組状況や課題等を把握するため実施した公民館訪問や市町村教育委員会を対象としたアンケート調査の結果と考察について説明し、公民館活動への若者の参加促進の方策などについて意見をいただいた。

○主な意見

- ・小学生頃から地域に関わり、その後リーダーとして、そして大学生になったら大学で地域に関わるという、段階をおって地域と関わるのが大切。
- ・公民館事業の参加者確保アイデアとして、事業の参加人数を館同士で競ってはどうか。
- ・地域外から通う大学生などが、興味が持てるような公民館事業に参加することは有意義であり、卒業後に自分の住む地域で参加するきっかけになるのではないか。
- ・大学でも地域連携や地域貢献は大きなテーマとなっているので、大学の窓口にも声をかけてもらおうと良い。

[対応]→アンケート結果等のまとめを市町村教育委員会へ情報提供する。

→各大学の地域連携等に関する担当部署を各市町村の社会教育担当課へ周知する。

意見交換(2) 放課後等の子どもの居場所づくりについて

○放課後の子どもの居場所として、「地域学校協働活動」、「放課後子供教室」、「地域未来塾」など地域住民等による参画・支援・協働による取り組みが進んでいる現状を説明し、「放課後子ども総合プラン」で示された放課後児童クラブ及び放課後子供教室の一体的な推進を引き続き推進していくことをあわせて説明した。貧困対策関連事業では、教育と福祉との一層の連携や地域人材の確保に課題があることから、その方策等について意見をいただいた。

○主な意見

- ・放課後子供教室等の指導員は、保育士の資格があると良い等の意見がある。
- ・居場所側と保護者の声を吸い上げて、お互いが理解し合う手だてが必要。

[対応]→意見を参考として、対応を検討する。

報告1 社会教育委員の手引の作成について

○県や市町村の社会教育委員の役割や心構え等基本的なことをまとめた手引を作成し配布することを報告した。

報告2 第40回中国・四国地区社会教育研究大会鳥取大会の開催結果について

○平成29年10月26日(木)、27日(金)に米子市文化ホール等で開催し、延べ1,117人の参加があったこと等を報告した。

報告3 平成29年度とっとり県民カレッジ主催講座「未来をひらく鳥取学」開催概要について

○地域課題の解決につなげられるよう講座の構成等を見直した結果、若い年齢層の受講が増え、学習成果を地域活動に活かしたいとのアンケート回答が増加したこと等を報告した。

〈参考：委員名簿〉

氏名	所属・職名等	備考
ありもと ちかこ 有本千香子	株式会社山陰放送営業総局鳥取支社支社長	
おおほり たかし 大堀 貴士	NPO 法人ハーモニーカレッジ理事長	副会長(欠)
おおろ のぶゆき 大呂 延幸	鳥取県PTA協議会長	
おかざき まこと 岡崎 誠	鳥取環境大学教授	
かに ひろとし 可児 弘俊	伯耆町立岸本公民館長	
こみづら つよし 近藤 剛	鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授	会長
たかた さとみ 高田 里美	日本ボーイスカウト鳥取連盟鳥取7団カブ隊隊長	(欠)
たなか あさこ 田中 朝子	鳥取県連合婦人会 前会長	
なかだ あけみ 中田 朱美	倉吉市立河北小学校長	
ふくいしんいちろう 福井伸一郎	倉吉市教育委員会教育長	(欠)
ほしみ のぶこ 星見 伸子	鳥取市健康子ども部子ども家庭課参事	
まのまゆみ 馬野真由美	三朝町教育委員会社会教育課参事・みささ図書館館長	
やしげ よしみ 矢芝 好美	鳥取県連合青年団事務局長	
やまもと さちこ 山本 幸子	鳥取市社会福祉審議会委員	
委員 計	14名	